



共同募金運動

平成 29 年度事業報告

～思いやりのところをつなぐ“赤い羽根”～



社会福祉法人静岡県共同募金会

目 次

第 1 部 概 要

1 募金状況	1
2 助成状況	1

第 2 部 事業実施状況

第 1 募金活動

1 社会的ニーズの把握	2
2 透明性・客観性・公平性を確保した助成要綱・要領の制定	3
3 助成申請の受付	3
4 助成計画と目標額の策定	3
5 広報・啓発活動	3
6 寄付依頼活動（募金活動）	7

第 2 助成活動

1 共同募金による助成	13
2 緊急等助成資金による助成	14
3 助成活動の効果測定	15

第 3 その他の活動

1 災害等準備金の状況	16
2 災害義援金の周知	16
3 共同募金以外の特定寄付金、指定寄付金の受入れと助成	16
4 他団体助成事業の受託事務	17
5 顕彰活動	18
6 共同募金運動 70 周年記念事業	19

第 3 部 法人運営

第 1 会務の運営

1 理事会	21
2 評議員会	23
3 監事監査	23
4 評議員選任・解任委員会	23
5 配分委員会	24
6 本会開催の会議等	25

第 2 その他の会務の運営

1 関係機関との連携	26
2 共同募金運動 70 周年答申の推進方策への対応	26
3 共同募金運動募金経費	27

第 3 社会福祉法人静岡県共同募金会役職員名簿	28
-------------------------	----

第1部 概 要

71 回目の運動となった平成 29 年度は、平成 28 年度と同様に「共同募金運動 70 周年」と位置づけ、「運動性の再生」＝「募金と助成が循環するしくみの充実」をテーマに掲げ、助成面では、「使途（寄付金の使いみち）の見える化」に取り組むとともに、募金面では、県内全商工会議所を訪問し直接依頼を行ったほか、使途選択募金、社会貢献型自販機など新しい募金ツールにも積極的に取り組んだ。

その結果、平成 7 年度以来減少が続いた募金実績は、社会貢献の多様化などによる地域の戸別募金や学校募金の減少に苦しみながらも、ほぼ前年並みの 5 億 4,478 万円余（対前年比 ▲約 118 万円 99.7%）を確保し、長く続いた減少傾向に歯止めをかけた。一方、助成実績は、272 件、4 億 8,822 万円余（対前年比 +48 件 ▲1,028 万円 97.9%）と金額こそ減少したが、きめ細かな助成情報の周知などにより件数は増加し、幅広い福祉関係団体等の要望に応えることができた。

1 募金状況

平成 29 年度は、厚生労働省告示第 296 号により、平成 29 年 10 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までの 6 カ月間、次のとおり募金活動を実施した。

区分	目標額 (円)	実績額 (円)	達成率 (%)	前年度比較	
				増減額 (円)	比率 (%)
一 般 募 金	360,288,000	331,467,870	92.0	796,195	100.2
（うち使途選択募金）	(3,000,000)	(4,929,283)	(164.3)	(2,373,555)	(192.8)
地域歳末たすけあい募金	188,001,000	193,290,361	102.8	▲5,091,337	97.4
NHK歳末たすけあい	21,711,000	20,023,916	92.2	3,109,104	118.3
合 計	570,000,000	544,782,147	95.5	▲1,186,038	99.7
前年度	573,000,000	545,968,185	95.3	▲12,405,407	97.7

（市町共同募金委員会別の実績額は別冊統計資料 5～10 ページ）

2 助成状況

申請を受理した社会福祉施設、社会福祉協議会等の福祉関係団体に対し、地域の福祉課題解決のため、次のとおり助成した。

募金区分	助成 件数	助成額 (円)	前年度比較		
			増減数	増減額 (円)	比率 (%)
一 般 募 金	169	274,962,340	44	▲9,838,532	96.5
地域歳末たすけあい募金	34	187,466,249	0	▲5,059,825	97.3
NHK歳末たすけあい	69	25,796,000	4	4,610,000	121.7
合 計	272	488,224,589	48	▲10,288,357	97.9
前年度	224	498,512,946	4	▲3,595,335	99.2

（助成一覧は別冊統計資料 14～27 ページ）

第2部 事業実施状況

「共同募金運動 70 周年」の 2 年目となった平成 29 年度は、「じぶんの町を良くするしくみ。」という理念の下、募金と助成が循環する本来のしくみの再生を目指し、次の 5 つの方針に沿って活動を展開した。

- 1 課題解決に向けた地域福祉活動の資金ニーズに応えるため、関係機関・団体との連携によりきめ細かな共同募金運動を展開するとともに、使途選択募金など新たな募金手法に挑戦する。
- 2 社会福祉協議会と協調・連携して、助成基準の明確化、助成のあり方等を見直し、効率的・効果的でわかりやすい助成活動「使途の見える化」に努め、助成が募金につながる循環するしくみを目指す。
- 3 運動創設 70 周年を契機に 70 周年記念事業を幅広く展開し、共同募金の意義を周知するとともに、共同募金を通じて寄付文化の醸成に努める。
- 4 70 年答申・推進方策が謳う共同募金運動の運動性の再生を図るため、自らも機能強化を図るとともに、市町共同募金委員会の組織の見直しなどを支援する。
- 5 社会福祉法改正の趣旨である経営組織のガバナンス強化、事業運営の透明性の向上等を図り、寄付者に信頼される開かれた共同募金会を目指す。

第1 募金活動

◎計画募金の考え方

共同募金は地域福祉活動を進めるため、あらかじめ使いみち（助成計画）や目標額（募金計画）を定めて行う計画募金である。そのため地域福祉活動ニーズに即した助成要綱を定め広く要望を取りまとめたうえで、助成計画及び募金目標額を定めて募金活動を展開した。

1 社会的ニーズの把握

(1) 県及び市町社協との連携

- ・共同募金の実施に先立ち静岡県社会福祉協議会に、社会福祉法第 119 条の規定に基づき目標額、助成の範囲等に対する意見を求めた。
- ・市町社会福祉協議会は、地域福祉活動の主たる実施主体として、地域福祉活動計画等を定め地域ニーズに即した活動を積極的に展開している。活動財源としての共同募金の役割も大きいことから、常に連携を図り共通認識の形成に努めた。

（アンケート調査の実施）

区 分	調査先	調査内容
助成審査機能に関すること	全市町社会福祉協議会 (共同募金委員会)	助成金 70% を占める地域助成審査について、審査基準及び審査方法について
地域歳末たすけあい見舞金の受領確認状況	全市町社会福祉協議会	見舞金贈呈事業において、現金受け渡しの事故を未然に防ぐ体制について

(2) 助成施設団体等との意見交換

助成先が抱える福祉課題について、共同募金の助成を通じて課題解決が図られるよう、現地調査の際に意見交換を行い現状と将来展望の把握に努めた。

(3) 行政機関との意見交換

最近の行政施策の動向、施設整備等の補助制度の内容等について、行政機関と意見交換を行い、情報収集に努めた。

2 透明性・客観性・公平性を確保した助成要綱・要領の制定

- ・助成計画及び募金目標額の算定の基礎となる助成要綱・要領は、助成基準の明確化、助成事例の例示を増やすなど大幅に記載方法を改め、寄付者と助成先の双方に解りやすいものとした。
- ・透明性、客観性、公平性を確保するため、助成対象となる活動の主体、内容、対象経費等の助成条件、応募方法、審査方法等を配分委員会で承認の後、理事会において決定し、ホームページ等で幅広く公開した。

3 助成申請の受付

- ・募集に当たっては、助成要綱・要領を広く住民が閲覧できるようホームページに掲載するとともに、市町社会福祉協議会、福祉施設団体等に対しても案内し、活動主体が計画する福祉活動の助成申請を受け付けた。
(主な申請受付期間) 平成 29 年 4 月 3 日 (月) ～5 月 15 日 (月)
- ・静岡県ボランティア協会、静岡県社会福祉協議会、男女共同参画センターあざれあ、静岡県 NPO センターに、ホームページ及びメールマガジンなどへの掲載を依頼した。
- ・各市町共同募金委員会において、助成説明会を開催するなど助成情報の広報に努めた。

4 助成計画と目標額の策定

- ・3 による助成申請の応募状況を基に本年度の助成計画を策定し、助成計画に経費を加えた額を今年度の募金目標額とし、平成 29 年 7 月 13 日 (木) 開催の第 270 回理事会において決定した。(別冊統計資料 3 ページ)
- ・また、社会福祉法第 119 条に基づき、募金の目標額、受配者の範囲、配分方法について、9 月 26 日 (火) に静岡新聞紙上で公告した。

平成 29 年度共同募金 申請状況・助成計画・目標額一覧 (単位：千円)

募金区分	申請状況		助成計画 ①	経 費 ②	目標額 (①+②)
	件数	金額			
一般募金	141	304, 140	316, 234 《292, 584》	67, 704	360, 288
地域歳末 たすけあい募金	34	182, 104	182, 104	5, 897	188, 001
NHK 歳末 たすけあい	申請受付期間 9 月 1 日～10 月 31 日		27, 067 《20, 761》	950	21, 711
計	175 (161)	486, 244 (490, 245)	525, 405 《495, 449》 (498, 004)	74, 551 (74, 996)	570, 000 (573, 000)

《 》書きは、助成計画から既に財源があるもの(積立金取崩等)を差し引いた必要額
()書きは前年度実績 (市町共同募金委員会別目標額は別冊統計資料 2 ページ)

5 広報・啓発活動

(1) 県民全体への広報

① 街頭キャンペーン活動

ア 10 月 1 日(日) 午後 1 時 30 分～2 時 静岡駅北口駅前地下広場において、70 周年を迎えた共同募金運動に対する理解を高めるため、運動の開始日に会長及び次の参加者による街頭キャンペーンを実施し、共同募金運動の始まりを広く県民に広報した。

(参加者)

静岡県副知事、静岡市長、静岡県健康福祉部長、静岡県社会福祉協議会会長、福祉団体関係者、静岡市共同募金委員会関係者など約 50 名

募金実績	29, 278 円	(前年 23, 519 円)
------	-----------	----------------

- イ 31 市町共同募金委員会において、10 月 1 日の運動開始以降、駅や繁華街等（延べ 260 か所）において、福祉団体関係者、小学校児童・中学校・高校生徒などのボランティアによる街頭募金等の宣伝活動を行った。
- ② 運動開始前に、赤い羽根共同募金の「使途の見える化」を図り新たな募金につなげるため、本年度申請事業の内容と昨年度の助成先を紹介する市町版各戸配布チラシを全戸配布し、赤い羽根共同募金の意義と必要性をアピールした。
特に助成金の約 70%を活用している市町社会福祉協議会からの「ありがとうメッセージ」を率先して掲載し、赤い羽根共同募金が身近な地域福祉活動に役立っていることを広報した。
- ③ 10 月 25 日（水）、静岡市民文化会館で開催した静岡県健康福祉大会で「ありがとうメッセージ」と 70 周年を記念して「共同募金歴代ポスター」を掲出し P R に努めた。
- ④ 各世帯、企業、学校などに各資材を使用し広報活動を実施した。

資 材 名	作製数 ・購入数	備 考
赤い羽根（シール・針）	1,661,200 本	各世帯用（購入）
市町共同募金委員会会長名領収書（冊子型）	2,001 冊	戸別等市町共募領収書（作成）
市町共同募金委員会会長名領収書（バラ型）	108,790 枚	〃（作成）
静岡県共同募金会会長名領収書（冊子型）	2,787 冊	法人等税控除用領収書（作成）
静岡県共同募金会会長名領収書（バラ型）	17,330 枚	〃（作成）
募金ボランティアバッジ	5,200 個	募金ボランティア用（購入）
募金ボランティアバッジ（70 周年仕様）	1,500 個	〃（購入）
ボランティア活動の手引き（A4 三つ折り）	28,000 部	募金ボランティア用（作成）
募金ボランティア委嘱状（A5）	3,900 枚	〃（作成）
共同募金と税制（A4 三つ折り）	35,900 部	寄付者用（作成）
静岡県知事名挨拶状（A4）	12,700 枚	企業用（作成）
法人開拓用チラシ（A4）	25,250 枚	〃（作成）
学校募金ハンドブック（静岡県版）（12 頁）	7,500 部	各学校（作成）
壁新聞（B2）	1,815 枚	各学校（購入）
ポスター（静岡県版 B2・B3・A2）	12,000 枚	各所掲出用（作成）
市町版各戸配布用チラシ（A4）	895,000 枚	各世帯用（作成）
全県版パンフレット（A3）	6,000 枚	〃（作成）
静岡県商工会議所連合会会長・商工会議所会 頭連名挨拶状（A4）（※内、会報誌に印刷）	56,700 枚 （※4,400 枚）	15 商工会議所（作成） 商工会議所会報誌に同封
静岡県商工会連合会会長・商工会会長連名挨拶状 （A4）	4,680 枚	8 商工会（作成）
健康福祉大会等配布用ありがとうメッセージ （A4）	2,600 枚	催事用（作成）
共同募金たすき	15 枚	街頭用（購入）
企業向パンフレット	2,111 部	企業用（購入）
基礎パンフレット	1,152 冊	一般向（購入）
赤い羽根ブランドブック	386 冊	企業用（購入）
募金箱用チラシ	1796 枚	街頭用（購入）
子供向パンフレット	701 冊	学校用（購入）
子供用ワッペン（ドラえもん）	29,670 個	〃（購入）
下敷（ドラえもん）	1,050 枚	〃（購入）
募金バッジ	163 枚	募金ボランティア用（購入）
共同募金のぼり旗	17 本	街頭用（購入）
旗布	81 枚	〃（購入）
エコバッグ	20 枚	募金ボランティア用（購入）
ボールペン	4,885 本	〃（購入）
70 周年クリアファイル	800 枚	一般向（購入）

資 材 名	作製数 ・購入数	備 考
プレミアム赤い羽根バッジ	128 個	役職員用（購入）
寄付つきプレミアム赤い羽根バッジ	300 個	（寄付額 98,250 円 190 個）
スタッフジャンパー	15 枚	〃（購入）
スタンド式募金箱	13 個	催事用（購入）
街頭肩掛募金箱	148 個	街頭用（購入）
卓上募金箱	168 個	企業用（購入）
キャラクター募金箱	107 個	〃（購入）
職域募金箱	2,960 個	〃（購入）
組立式募金箱（ドラえもん）	68,360 個	学校用（購入）
募金箱用チェーン	134 本	募金箱用（購入）
寄付つきクオカード	2,987 枚	（寄付金額 1,182,852 円）
寄付つき図書カード	1,932 枚	（寄付金額 792,120 円）

(2) 報道機関の広報協力

- ① 募金活動開始に先立ち、会長及び常務理事が民放テレビ局（4 局）の代表者を訪問し（平成 29 年 8 月 23 日）、報道による広報協力を直接依頼した。
- ② 中央共同募金会制作の運動開始用及び運動終了用のテレビスポット、ラジオスポット（70 周年記念バージョン）を各放送局（民間テレビ 4 局・ラジオ 1 局、ケーブル TV 11 局、コミュニティ FM 8 局、インターネットラジオ 1 局）に提供し協力を得た。
- ③ 共同募金運動に関して、テレビ 3 局が助成先の取材を基に共同募金の意義や使いみちについて報道した。

放送局名	番組名	取材先	放送日
静岡第一テレビ	マルシェア	認定特定非営利活動法人 シャイン・オン・キッズ	10/2
テレビ静岡	チョット！いいタイム	障害福祉施設 ラポール・タスカ・ベンチタイム	10/21
NHK	たっぷり静岡	放課後等デイサービス ここ	10/3

- ④ NHK 歳末たすけあいに関して、NHK 静岡放送局が、運動開始日の感謝状贈呈セレモニーや寄付者への取材を基に共同募金の意義を助成先の取材により使いみちの事例紹介について報道した。

放送局名	番組名	取材先	放送日
NHK	たっぷり静岡	寄付者、NPO 法人ホスピタルプレイ協会	12/1
	ニュース	NPO 法人静岡難病ケア市民ネットワーク	1/13
	たっぷり静岡		1/17

(3) ホームページによる広報

- ① 助成を受けた施設・団体からの「ありがとうメッセージ」を公開し、寄付者への謝意を表するとともに、共同募金の「使途の見える化」に努めた。
- ② 募金箱を設置いただいているスーパーやイベント募金に取組む企業等取材し、協力内容を掲載することでご協力への謝意を表し、企業の社会貢献活動をアピールした。
- ③ 助成要綱、申請用紙などをダウンロードできる仕組みとし、申請者の利便性の向上を図るとともに、助成情報の周知に努めた。
- ④ 中央共同募金会とリンクして共同募金に関する情報を発信した。
- ⑤ 助成先と情報の共有化を図るため、助成先のホームページに共同募金のバナーをつけることを促しリンクを強化した。

(4) 地元プロサッカーチームの広報協力

① ポスター制作協力

平成 22 年度から J リーグの清水エスパルスとジュビロ磐田の全面協力により、マスコットキャラクター（パルちゃん & ジュビロくん）の写真提供を受け、独自ポスターを制作している。

平成 29 年度は共同募金運動 70 周年記念バージョンとして、ポスター 12,000 枚を制作し、町内会・自治会の掲示板、公共施設や地方銀行（静岡銀行（180 枚）、スルガ銀行（65 枚）、清水銀行（50 枚）などに掲出し啓発を行った。

② J1 リーグ戦での PR 活動

11 月 18 日（土）、2017 明治安田生命 J1 リーグ第 32 節清水エスパルス VS 北海道コンサドーレ札幌戦（IAI スタジアム日本平）において、両チーム及び北海道共同募金会の協力により、会場内に赤い羽根募金ブースを設置し、コラボグッズによる募金活動を実施した。併せて両チームマスコット「パルちゃん」

「ドーレくん」によるブース応援や告知チラシの配布など、赤い羽根共同募金 PR 活動を行った。



募金実績

215,702 円

(5) 「赤い羽根バルーン」（1口：480 個、50,000 円）による広報協力

協賛企業名	口数	活用市町	活用行事
(株)静岡銀行	2 口	静岡市	9/10 第 38 回ふれあい広場 10/1 街頭募金キャンペーン
		牧之原市	10/1 平成 29 年度さざんかふれあい広場
(株)スルガ銀行	2 口	沼津市	12/2,3 沼津市社会福祉法人 50 周年・サンウェルぬまづ 10 周年記念イベント
		清水町	11/23 清水町ふれあい広場
(株)清水銀行	1 口	静岡市	9/24 福祉のまつり 2017 (清水区)
静岡県民共済生活協同組合	1 口	静岡市	9/10 第 38 回ふれあい広場 10/1 街頭募金キャンペーン
計 (4 件)	6 口		
前年度 (4 件)	6 口		

(6) 静岡県による広報協力

- ① しずおか県民だより 10 月号にスローガン、運動期間等が掲載された。
- ② 県庁にポスターとのぼり（4 箇所）が掲出され、募金箱（4 個）が設置された。また、健康福祉センターにポスター（7 箇所）が掲出された。
- ③ 遠州鉄道（バス車内、ハイグレードバス停、電車内、各駅（一部））の情報発信板、NHK 及び S B S のデータ放送の「県からのお知らせ」において運動開始のお知らせが表示された。
- ④ S B S ラジオ「鉄崎幹人の W A S A B I」、コミュニティ FM 放送局（県内 12 カ所）で運動開始のお知らせが放送された。

(7) 静岡県社会福祉協議会による広報協力

静岡県社会福祉協議会機関紙「社会福祉しずおか」10 月特別号に、共同募金運動をテーマとした特集記事が掲載され、募金の使いみちや、学校の取り組み事例が紹介された。機関紙は、県内の中学校（294 校）に配布され、福祉教育に役立てられた。
（中学校版 120,000 部・学校以外 11,300 部）

6 寄付依頼活動（募金活動）

(1) 赤い羽根共同募金（平成 29 年 10 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日の 6 カ月間）

① 一般募金（平成 29 年 10 月 1 日～12 月 31 日）

戸別募金、法人募金、学校募金、職域募金などにより円滑な募金活動を推進するため、募金推進団体開催の会合に出向き、募金活動への積極的な協力を依頼した。

ア 知事報告及び協力依頼

平成 28 年度の募金・助成活動の報告と 10 月 1 日の街頭キャンペーンの参加依頼を行った。

月日	内容	出席者
平成 29 年 4 月 21 日（金）	平成 28 年度共同募金の状況	会長、常務理事他

イ 戸別募金増強に向けて 一各団体へ協力依頼一

月日	主催	会合
平成 29 年 6 月 21 日（水）	静岡県自治会連合会	理事会

ウ 法人募金増強に向けて 一各団体へ協力依頼一

・静岡県、政令市民生委員児童委員協議会

月日	主催	会合
平成 29 年 5 月 15 日（月）	静岡県民生委員児童委員協議会	理事会
平成 29 年 6 月 1 日（木）		総会
平成 29 年 4 月 5 日（水）	静岡市民生委員児童委員協議会	常任理事会
平成 29 年 5 月 23 日（火）		理事会
平成 29 年 7 月 3 日（月）	浜松市民生委員児童委員協議会	理事会

・経済・産業関係団体

月日	主催	対象
平成 29 年 6 月 27 日（火）	（一社）静岡県商工会議所連合会	専務理事・事務局長会議
平成 29 年 7 月 14 日（金）	静岡県商工会連合会	※文書依頼
平成 29 年 7 月 24 日（月）～ 7 月 28 日（金） 述べ 4 日間	県内全商工会議所（15 箇所訪問）	専務理事・事務局長会議
平成 29 年 8 月 17 日（木）	静岡県建設業協会	理事、事務局長会議
平成 30 年 1 月 5 日（金）	静岡商工会議所	新春会員の集い※

※「新春会員の集い」（グランシップ）において募金コーナーを設置して、静岡商工会議所女性部の協力のもと、会長自らが商工会議所会員に「プレミアム赤い羽根バッジ」による募金活動を行った。

募金実績	106,100 円
------	-----------

エ 学校教育における共同募金運動の推進依頼

・共同募金は「たすけあい」運動であり、子どもたちが比較的容易に参加し、始めることが出来るボランティア活動であることから、学校募金ハンドブック（静岡県版）を県内の小学校・中学校・高等学校に 4 冊ずつ配付し、教育活動の一環としての共同募金運動の取り組むよう依頼した。

月日	主催	対象
平成 29 年 4 月 20 日（木）	静岡県私学協会	学校法人理事長・校長
平成 29 年 4 月 12 日（月）	静岡市教育委員会	市立小、中学校長代表者
平成 29 年 9 月 5 日（火）	静岡県高等学校長協会	高等学校長理事（理事会）
—	浜松市教育委員会※	市立小、中学校長
—	静岡市教育委員会※	市立小、中学校長
—	静岡県教育委員会※	市町教育委員長・教育長（政令市含む）
—		公立小、中学校長（政令市除く）
—		公立高、特別支援学校長（市立高含む）

※資料の配付を依頼

オ 組立式募金箱、職域募金箱、街頭肩掛募金箱など 6 種類の募金箱 71,756 個(前年度 87,423 個)を市町共同募金委員会に無償で配布し、自発的寄付の環境を整えた。

カ 企業団体等への募金依頼

依 頼 先	募金額 (円)	備考
(株)エンチョー	203,490	県内 36 店舗 151,990 円 県外 10 店舗 51,500 円
生活協同組合ユーコープ	108,403	18 店舗
ふじのくに健康福祉キャンペーン構成団体	44,670	14 団体
国の出先機関	18,022	19 機関
静岡県庁	1,313,730	510 部署 (寄付金内訳：共同募金 763,173 円 NHK 歳末たすけあい 550,557 円)
静岡県内の郵便局	501,322	266 箇所
社会福祉法人	198,184	43 施設
静岡県鮎商生活衛生同業組合	11,650	2 店舗
静岡県社交飲食業生活衛生同業組合	29,703	1 店舗
静岡県飲食業生活衛生同業組合	6,523	2 店舗
静岡県理容生活衛生同業組合	34,800	7 店舗
静岡県書店商業組合	16,209	3 店舗
戸田書店	60,327	7 店舗
谷島屋	10,883	3 店舗
MARUZEN&ジュンク堂書店	3,079	1 店舗
(株)静鉄ストア	101,204	33 店舗
(株)遠鉄ストア	100,000	31 店舗
(株)ヒバリヤ	8,888	9 店舗
(株)タカラエムシー	114,578	41 店舗
(株)ユーマート	32,405	1 店舗
真如苑	358,280	2 精舎
沼津魚がし鮎(沓間水産(株))	64,722	20 店舗
(株)静岡銀行	1,383,926	144 店舗
葛城ゴルフ倶楽部	119,681	
富士山静岡空港出国ロビー免税店	16,460	1 店舗
計(25)	4,861,139	
前年度(25)	4,226,550	

◎募金箱の設置推進

依 頼 先	設置数	依頼内容	設置期間
(株)エンチョー	53	募金箱設置、ポスター掲出	10 月～12 月
(株)静鉄ストア	35	〃	10 月～12 月
(株)遠鉄ストア	31	〃	10 月～12 月
(株)ヒバリヤ	9	〃	10 月～12 月
(株)タカラエムシー	41	〃	10 月～12 月
静岡県内の郵便局	483	職域募金箱設置、ポスター掲出	10 月～3 月
(株)オークワ	2	募金箱設置、ポスター掲出	10 月～12 月
ANA 静岡空港所	1	〃	10 月～12 月
社会福祉法人	417	〃	10 月～12 月
NPO 法人	216	〃	10 月～12 月
生活協同組合ユーコープ	18	〃	12 月

依 頼 先	設置数	依頼内容	設置期間
静岡県庁	900	職域(封筒)募金、寄付つきクオカード	10月～12月
国の出先機関	132	職域募金箱設置、寄付つきクオカード	10月～3月
ふじのくに健康福祉キャンペーン構成団体	98	〃	10月～3月
静岡県鮭商生活衛生同業組合	17	募金箱設置、ポスター掲出	10月～12月
静岡県麺類業生活衛生同業組合	13	〃	10月～12月
静岡県社交飲食業生活衛生同業組合	11	〃	10月～12月
静岡県飲食業生活衛生同業組合	39	〃	10月～12月
静岡県理容生活衛生同業組合	29	〃	10月～12月
静岡県美容業生活衛生同業組合	35	〃	10月～12月
戸田書店	13	〃	年間
谷島屋	19	〃	年間
江崎書店	3	〃	年間
MARUZEN&ジュンク堂	1	〃	年間
静岡県書店商業組合	19	〃	年間
沼津魚がし鮭(沓間水産株)	20	募金箱設置、ポスター掲出	年間
(公財)静岡市まちづくり公社	1	募金箱設置	年間
静岡県庁売店	1	〃	年間
静岡県教育会館	1	〃	年間
富士山静岡空港出国ロビー免税店	1	〃	年間
(株)ガイア	2	〃	年間
(株)ユーマート	9	募金箱設置、ポスター掲出	年間
真如苑(静岡精舎、浜松支部)	2	募金箱設置	年間
ジャパンバザール	1	〃	年間
北前そば高田屋	1	〃	年間
静鉄ホテルプレジオ	2	募金箱設置、ポスター掲出	年間
計(36)	2,676		
前年度(30)	2,566		

キ その他の依頼先

- ・東日本旅客鉄道(株)横浜支社の承認をうけ10月から12月の間、熱海駅(30日間)、伊東駅(18日間)の構内での街頭募金を実施した。
- ・(一社)静岡県商工会議所連合会会長及び商工会議所会頭の自署による「共同募金協力の係る挨拶状」を、県内15商工会議所が発行する会報誌に同封(一部、印刷)して、会員に対し共同募金を通じた社会貢献メニューによる協力を呼びかけた。
- ・静岡県医師会では、毎月1日発行の「静岡県医師会報」(11月・12月)に本会からの寄付依頼を掲載し会員に対し募金を呼びかけた。
- ・静岡県建設業協会では、会員に対し、社屋・建設工事現場等への「社会貢献型自動販売機」の設置を呼びかけた。また、ホームページに本会からの寄付依頼「社会貢献型自動販売機」設置協力依頼を掲載した。

② 使途選択募金（テーマ型募金）の実施（平成 30 年 1 月 1 日～3 月 31 日）

使途選択募金「使いみちを選べる募金」は、地域の福祉課題をテーマに持つ団体が、共同募金会と協働して、課題を解決する必要性を広くアピールしながら、自ら募金の協力と呼び掛けるもので、寄付者が使いみちを選択できる新たな募金の仕組みである。平成 25 年度から始め、今回で 5 回目となる。テーマに寄せられた寄付金は、共同募金会から当該団体の支援活動に全額助成（2%の経費を除く）され、課題解決へとつながる財源として活用された。

	団体名	テーマ	目標額 (円)	寄付 件数	寄付額 (円)	助成額 (円)
1	特定非営利活動法人 駒越地区社会福祉協議会	買い物支援事業	408,000	104	417,302	408,956
2	社会福祉法人 浜松いのちの電話	若者への「浜松いのちの電話カード」配布事業	441,000	37	200,040	196,040
3	社会福祉法人 静岡いのちの電話	電話相談員募集事業（「いのちの電話」活動紹介冊子作成）	100,000	21	123,957	121,478
4	NPO法人 サステナブルネット	はままつやらまいか子ども食堂事業	956,000	15	527,242	516,698
5	社会福祉法人なごみかぜ	子ども食堂の開設事業	244,000	110	662,302	649,056
6	特定非営利活動法人 静岡県補助犬支援センター	身体障害者補助犬育成継続事業	500,000	79	387,286	379,541
7	特定非営利活動法人 てくてく	ひきこもり当事者とその家族を対象とした居場所づくり事業	982,000	76	494,884	483,487
8	特定非営利活動法人 静岡市障害者協会	障害のある人の再犯防止プログラム・支援セミナー事業	296,000	17	127,302	124,756
9	特定非営利活動法人 POPOLO	子ども応援事業（食糧支援と相談事業）	80,000	11	128,302	125,736
10	特定非営利活動法人 オールしずおか ベストコミュニティ	障がいのある人への支援力向上研修事業	100,000	10	181,185	177,562
11	社会福祉法人 静岡県社会福祉協議会	ふじのくに生活困窮者自立支援事業	200,000	102	655,039	641,849
12	特定非営利活動法人 静岡県ボランティア協会	高校生・大学生と共に創る「地域共生フォーラムしずおか」事業	410,000	72	1,024,442	1,003,954
計 (12)			4,717,000	654	4,929,283	4,829,113
前年度(10)			7,690,000	426	2,555,728	2,504,316

（詳細は別冊統計資料 25 ページ）

(2) 地域歳末たすけあい募金（平成 29 年 12 月 1 日から 12 月 31 日までの 1 カ月間）

市町社会福祉協議会が実施する地域歳末支援事業のため各市町の区域ごとに戸別、法人募金等の募金活動を実施した。

区分	目標額 (円)	実績額 (円)	達成率 (%)	前年度比較	
				増減額 (円)	比率(%)
地域歳末 たすけあい募金	188,001,000	193,290,361	102.8	▲5,091,337	97.4

(3) NHK歳末たすけあい（平成 29 年 12 月 1 日から 12 月 25 日までの 25 日間）

日本放送協会、中央共同募金会、NHK厚生文化事業団が、生活困窮者等の年末年始支援、児童養護施設等利用者の進学等自立支援を行うために、次のとおり募金活動を実施した。

- ・日本放送協会静岡放送局はテレビ番組やラジオ放送の中で募金活動と呼び掛けるとともに、静岡放送局及び浜松支局の 2 か所で窓口を設けた。平成 29 年度末に浜松支局が静岡放送局と統合されるため、浜松支局の窓口では、受付終了と来年度以降の受付方法を案内した。
- ・中央共同募金会を通じて寄付経験者に寄付依頼のダイレクトメールを発送した。

区分	目標額 (円)	実績額 (円)	達成率 (%)	前年度比較	
				増減額 (円)	比率 (%)
NHK歳末たすけあい	21,711,000	20,023,916	92.2	3,109,104	118.3

(受付状況)

受付窓口	件数	金額 (円)	内 訳		
			取り扱い	件数	金額(円)
中央共同募金会	1,096	14,326,850	県下各郵便局、信用金庫ほか		
NHK 静岡放送局 静岡県共同募金会	168	3,149,881	静岡放送局	119	2,099,766
			浜松支局	49	1,050,115
	297	2,547,185	地方銀行 3 行扱い	20	1,147,822
			農協扱い	46	343,806
			漁協扱い	1	5,000
			事務局扱い	229	1,049,119
			事務局扱い(締後)	1	1,438
県内窓口	465	5,697,066			
計	1,561	20,023,916			
前年度	1,552	16,914,812			

(4) 年間を通した寄付の受入

① 社会貢献型自動販売機による募金

新たな募金ツールとして、売り上げの一部が共同募金に寄付される清涼飲料水自動販売機の設置を推進した。

飲料会社・業者	設置台数	募金額 (円)
ダイドードリンコ(株)	148	2,027,644
ユニヴァーサル商事(株)	40	160,142
ポッカサッポロフード&ビバレッジ(株)	9	124,248
(株)伊藤園	39	186,133
コカ・コーラ ボトラーズジャパン(株)	51	280,137
(特非)ハートフル福祉募金	18	726,230
東海ビバレッジサービス(株)	56	559,259
サントリーフーズ(株)	2	36,101
ナショナル・ベンディング(株)	5	62,208
(株)ジャパンビバレッジホールディングス	32	156,062
サントリービバレッジサービス(株)	17	108,761
(株)アベックス	3	68,713
アサヒカルピスビバレッジ(株)	8	34,030
中央静岡ヤクルト販売(株)	3	9,089
ツキジベンディング	2	12,584

飲料会社・業者	設置台数	募金額（円）
(株)栗堂	1	2,617
フクロイ乳業(株)	2	18,829
アシード(株)	1	10616
トーヨーベンディング(株)	1	55,936
(株)富士テレネット	12	(翌年度入金)
キリンビバレッジバリューベンダー(株)	1	(翌年度入金)
その他	9	38,934
計	460	4,678,273
前年度	432	4,822,868

※設置台数は、平成 30 年 3 月 31 日現在（設置先別台数一覧は別冊統計資料 11 ページ）

② 中央共同募金会受付の静岡県分内訳

寄 付 者	件数	募金額 （円）
(株)マルハンユニオン	1	2,109,006
(株)三愛の共済会	1	132,555
(株)J CM	1	35,388
(株)丸八真綿販売	1	34,606
東洋羽毛工業(株)	1	15,440
(株)ガイア	2	12,691
センティールワン(株)	1	10,300
(株)スミフルジャパン	1	6,152
(株)島田書店	1	4,610
(有)saintarrow	1	2,787
エドワーズライフサイエンス(株)	2	2,260
NTT スマートトレード(株)	1	1,327
(株)クオカード	1	1,308
ゼブラ(株)	1	967
(株)トゥ・ディファクト	1	217
そんぽ 24 損害保険(株)	1	123
インターネット寄付	18	283,117
ふるさとサポート募金	14	264,000
ペイジー（ネットバンク）	-	3,906
ファミポート	-	14,000
かざして募金	-	3,913
その他	17	12
計	44	2,731,961
前年度	48	2,860,267

③ 物品による寄付

寄 付 者	寄付物品	数量	募金額 （円）
アサヒ飲料(株) （中央共同募金会受付）	ひなまつり特製デザインカルピス	10 ケース (120 本)	55,200
はごろもフーズ(株)	胡蝶蘭（鉢植）	40 鉢	2,000,000
計	2 件		2,055,200
前年度	1 件		11,040

（助成一覧は別冊統計資料 22～24 ページ）

第2 助成活動

年度当初に受け付けた施設・団体等(社会福祉協議会を含む)からの助成申請については、会長、配分委員会委員による現地調査を実施した上で助成案を策定し、配分委員会での審議・承認を得て、理事会において次のとおり決定し助成した。(平成30年5月18日公告)

1 共同募金による助成

(1) 平成29年度共同募金による助成

区分	種別	助成先	件数	29年度実施 事業助成額	30年度実施 事業助成額	計
一般 募金	地域福祉活動支援	市町社会福祉協議会	35		146,907,027	146,907,027
	広 域	市町社会福祉協議会 (機器整備)	4		3,457,000	3,457,000
		広域福祉活動団体	21		24,977,000	24,977,000
		福祉施設機器整備	97		64,162,200	64,162,200
		小計	122	0	92,596,200	92,596,200
	使途選択募金	参加団体	12		4,829,113	4,829,113
	地域ふれあい支え合い※	小地域福祉活動団体			12,000,000	12,000,000
	こども食堂・授産応援	障害者の就労支援団体			2,500,000	2,500,000
	災害等準備金(積立)	—			16,130,000	16,130,000
	計		169	0	274,962,340	274,962,340
地域歳末 たすけあい 募金	歳末支援活動助成	市町社会福祉協議会	34	143,268,060	0	143,268,060
	地域福祉活動支援 (翌年度)	市町社会福祉協議会	(31)		44,198,189	44,198,189
	計		34	143,268,060	44,198,189	187,466,249
NHK歳末 たすけあい	年末年始活動助成	児童福祉施設・更生 施設他	67	16,350,000	0	16,350,000
	進学等自立支援助成	児童養護施設、自立 援助ホーム、里親等	2		9,446,000	9,446,000
	計		69	16,350,000	9,446,000	25,796,000
助成金合計			272	159,618,060	328,606,529	488,224,589
前年度			224	157,416,347	341,096,599	498,512,946

(平成29年度の募金額に加え、平成25年度災害等準備金取崩金8,650,000円を充当した。)

※地域ふれあい支え合い及びこども食堂・授産応援の助成先は、30年度に申請を受け付け、決定する。

() 書きは市町社会福祉協議会の歳末支援活動助成との重複件数

(助成一覧は別冊統計資料 14～27 ページ)

(2) 平成28年度共同募金による助成(平成29年度地域ふれあい支え合い助成)

平成28年度共同募金を活用し、小地域の支援対象に対して行う福祉活動及び更生保護活動のための事業費及び機器整備に次のとおり助成した。

(助成一覧は別冊統計資料 33～37 ページ)

助成区分	件数	助成額（円）
(1) 要援護者のための支援体制づくり活動		
① 見守り事業	4	757,000
小計	4	757,000
(2) 在宅福祉活動		
① ひきこもりや孤立を防ぐ事業・相談事業	1	199,000
② ひきこもりや孤立を防ぐ事業・障害者家族勉強会	1	200,000
③ ひきこもりや孤立を防ぐ事業・高齢者サロン	32	6,482,000
④ ひきこもりや孤立を防ぐ事業・子育てサロン	3	530,000
⑤ 障害児への情報提供事業	1	162,000
⑥ 食事サービス事業・子ども食堂	1	144,000
⑦ 車椅子貸出事業	1	144,000
⑧ 子どもの遊び場の遊具設備の新設	5	1,469,000
小計	45	9,330,000
計	49	10,087,000
前年度	(61)	(12,563,000)

2 緊急等助成資金による助成

(1) 共同募金運動 70 周年記念助成

災害緊急助成実施要領に基づき、緊急等助成資金を活用して共同募金運動 70 周年記念助成として、次の助成を実施した。

① 災害ボランティア活動用資機材助成整備

区分	申請団体名	事業内容	件数	助成額 (円)
前期	河津町社会福祉協議会ほか	災害活動用資機材 収納庫	4 件	2,928,764
後期	下田市社会福祉協議会ほか		3 件	1,401,723
計			7 件	4,330,487
前年度			13 件	6,899,092

（助成一覧は別冊統計資料 28 ページ）

② 福祉施設機器整備（当年度機器整備）

区分	申請施設名	事業内容	件数	助成額 (円)
前期	風の丘 ほか	平成 29 年度に認可施設 を創設又は増改築する 福祉施設の機器整備	8 件	11,941,000
後期	ひだまり ほか		12 件	13,277,000
計			20 件	25,218,000

（助成一覧は別冊統計資料 29 ページ）

(2) 緊急等助成資金

(単位：円)

区分	前期末 残 高	29 年度 積立額	29 年度 取崩額	29 年度末 残 高
緊急等助成資金	233, 589, 229	0	29, 548, 487	204, 040, 742

※平成 27 年度末に、繰越が多額に上ったため、静岡県（所轄庁）の指導に基づいて、繰越金とはせずに、目的を明確にした基金として積み立て計画的に助成に回すこととした。そのため、従前あった積立金「緊急助成資金」に、繰り越し分から 120, 000 千円を積み立て、名称も「緊急等助成資金」に改めた。この資金を活用した「共同募金運動 70 周年記念助成」として、平成 28 年度に「災害ボランティア活動用資機材助成整備」を、平成 29 年度に「福祉施設機器整備(当年度機器整備)」を創設した。(いずれも平成 31 年度までの時限事業)

3 助成活動の効果測定

助成先から助成事業完了後に「使途実施報告書・交付請求書」の提出を受け、その内容の精査を行うとともに現地調査時に実施状況を確認し効果の測定を行った。

(1) 県・市町社会福祉協議会による地域福祉活動

- ・県及び 5 市町社会福祉協議会について、配分委員が社会福祉協議会の事務局を訪問し使途事業の実施状況を調査し、概ね妥当な状況であった。
- ・市町社会福祉協議会への助成は、「使途が見えない」との批判があることから、今後の助成に当たっては、助成基準を明確にするとともに、助成審査機能の導入等にも取り組むよう指導をした。

(2) 福祉施設機器整備（修繕含む）

- ・備品・車両等の更新又は整備は、対象者に対する福祉サービスの向上につながるもので、概ね申請の目的が達成されていた。
- ・経年劣化等による施設設備整備は、設置者において年次計画を立てて実施するものであり、助成に当たっては当該経営主体の財政状況を勘案する必要がある。

(3) 広域活動団体による地域福祉活動

- ・講座、研修などは、福祉サービスの向上につながる人材養成に効果が見られた。

第3 その他の活動

1 災害等準備金の状況

社会福祉法第 118 条に基づき災害等に備えるため積み立てている災害等準備金のうち、積立後 3 年が経過した平成 25 年度積立分(平成 28 年度熊本地震拠出後の残金 8,650 千円)を取崩し、平成 29 年度助成財源とした。

また、年度末には、平成 29 年度共同募金総額の 3% (16,130 千円) を平成 29 年度分として、新たに積み立てた。

(単位：円)

区分	前期末 残 高	29 年度 取崩額	29 年度 積立額	29 年度末 残 高
災害等 準備金	58,630,000	8,650,000 【内訳】 H25 積立残額 8,650 千円	16,130,000 H29 共同募金総額の 3%	66,110,000 【内訳】 H26 積立 17,030 千円 H27 積立 16,680 千円 H28 積立 16,270 千円 H29 積立 16,130 千円

2 災害義援金の周知

全国各地の災害義援金募集要綱を市町社会福祉協議会に周知した。

	義援金の名称	募集共募	受付期間
1	平成28年熊本地震義援金	熊本県共同募金会	平成28年4月15日から平成30年3月31日
	平成28年熊本地震義援金	中央共同募金会	平成28年4月18日から平成31年3月31日
2	平成29年7月5日からの大雨災害義援金	福岡県共同募金会	平成29年7月10日から平成30年9月28日
	平成29年7月5日からの大雨災害義援金	中央共同募金会	平成29年7月10日から12月28日
	大分県豪雨災害義援金	大分県共同募金会	平成29年7月11日から12月28日
3	秋田県大雨災害義援金	秋田県共同募金会	平成29年7月27日から8月31日
4	台風18号大分県災害義援金	大分県共同募金会	平成29年9月21日から平成30年3月30日
	台風21号三重県災害義援金	三重県共同募金会	平成29年10月31日から平成30年1月31日
5	平成29年台風21号災害義援金	中央共同募金会	平成29年11月2日から平成30年1月31日
	和歌山県平成29年台風台21号災害義援金	和歌山県共同募金会	平成29年11月2日から平成30年1月31日

3 共同募金以外の特定寄付金、指定寄付金の受入れと助成

税制上の優遇措置を希望する共同募金以外の特定寄付金、指定寄付金を次のとおり受け入れ、助成を行った。(中央共同募金会の審査を要する助成額 100 万円を超える寄付金は無かった。)

寄 付 者 (所在地)	寄付額 (円)	助成額 (円)	助成先 施設・団体名	使途指定内容
ユニヴァーサル商事(株) (浜松市)	70,766	159,862	(特非) 静岡県補助 犬支援センター	補助犬の普及・推進 事業
(株)鈴木楽器製作所 (浜松市)	22,438			
コーケン工業(株) (磐田市)	22,116			
(有)松和製作所 (磐田市)	6,369			
木下電気(株) (浜松市)	10,765			
(株)ブランエコとれたて食楽部 (袋井市)	7,521			
高砂珈琲(株)磐田工場 (磐田市)	3,406			
いちかわ商店 (森町)	3,821			
(有)びゅあサポート (浜松市)	11,510			
テイ・エステック(株)浜松工場 (浜松市)	1,150			

寄 付 者 (所在地)	寄付額 (円)	助成額 (円)	助成先 施設・団体名	使途指定内容
匿名※ (藤枝市)	5,000	7,000		身体障害者補助犬 育成継続事業
匿名※ (藤枝市)	2,000			
匿名※ (静岡市)	3,000	39,000	(特非) ゆめ・ま ち・ねっと	生きづらさを抱え た子ども・若者との 絆づくり事業
匿名※ (北海道)	10,000			
匿名※ (宮城県)	10,000			
匿名※ (千葉県)	3,000			
匿名※ (東京都)	3,000			
匿名※ (大阪府)	10,000			
匿名※ (吉田町)	1,000	1,000	(福) 静岡いのち の電話	電話相談員募集事 業
匿名※ (磐田市)	1,000	4,000	(福) 浜松いのち の電話	中学生へのこころ の支援事業 (「いのちの電話カ ード」作成)
匿名※ (浜松市)	3,000			
匿名※ (富士宮市)	1,000	4,000	(福) 静岡県社会 福祉協議会	ふじのくに生活困 窮者自立支援事業
匿名※ (静岡市)	3,000			
計 (23)	214,862	214,862	(5)	
前年度 (16)	54,422,309	53,137,514		

※平成 28 年度使途選択募金の締後に受け入れた寄付金

4 他団体助成事業の受託事務

(1) 公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団助成事業の推薦事務

中央競馬馬主社会福祉財団から中央共募通じて委託（業務委託費 205,000 円）を受け、当財団の助成を要望する施設を募集し審査のうえ、次のとおり推薦した。

施設名	施設 所在地	助成額 (円)	使途指定内容
さわじ作業所（障害福祉サービス事業： 就労継続支援 B 型事業所）	三島市	850,000	福祉車両の購入【買替】 （軽貨物車両）
グループホームやまいも（障害福祉サービ ス事業：共同生活援助 グループホーム）	御殿場市	240,000	備品の購入（防災用品）
すどデイサービスセンター （老人デイサービス事業）	富士市	1,060,000	福祉車両の購入【増車】（車い す仕様軽自動車 スロープ式）
海山荘 （特別養護老人ホーム）	牧之原市	1,180,000	福祉車両の購入【増車】（車い す仕様軽自動車 スロープ式）
ディアコニア （特別養護老人ホーム）	袋井市	460,000	厨房内の食器洗浄機の入替え
しんぱらの家ショートステイ （老人短期入所事業）	浜松市	980,000	福祉車両の購入【買替】（車い す仕様軽自動車 スロープ式）
計 (6)		4,770,000	
前年度 (3)		4,480,000	

(2) 公益財団法人車両競技公益資金記念財団助成事業の申請受付事務

車両競技公益資金記念財団から中央共募を通じて委託（業務委託費 220,000 円）を受け、当財団の助成を要望する施設・団体の募集を行い、申請書の受け付け業務を行った。

施設・団体名	施設・団体 所在地	助成金額 (円)	使途指定内容
富士宮市民楽友会コールエーコン	富士宮市	160,000	リズムミックセット
(特非) 静岡市障害者協会	静岡市	150,000	簡易スロープ
下間ふれあいサロン 一五の会	藤枝市	238,000	テレビ、DVD レコーダー等

施設・団体名	施設・団体 所在地	助成金額 (円)	使途指定内容
ひらよんクローバー会	藤枝市	257,000	会議用テーブル
点訳サークルひまわり	藤枝市	122,000	パソコン、点訳ソフト
兵中ふれあいサロン	藤枝市	221,900	ワイヤレスポータブルアンプ等
西益津地区社会福祉協議会	藤枝市	180,000	カラーリングセット
青南町ふれあいサロン	藤枝市	445,100	テーブル、スタッキングチェア等
稲取保育園	東伊豆町	690,000	デッキ改修工事
うたごえ ど・れ・み	吉田町	816,200	キーボード、PAセット等
計 (10)		3,280,200	
前年度 (4)		3,370,000	

5 顕彰活動

(1) 平成 29 年度全国社会福祉大会における表彰

平成 29 年 11 月 22 日(水)、メルパルクホール（東京都港区）において、平成 29 年度全国社会福祉大会が開催され本県関係では次のとおり表彰された。

① 厚生労働大臣表彰

表彰区分	件数	条件	備考
共同募金運動奉仕団体	1 団体	20 年以上	

② 中央共同募金会会長表彰

表彰区分	件数	条件	備考
優良団体	2 団体	10 年以上	

(2) 平成 29 年度静岡県健康福祉大会の開催と表彰

平成 29 年 10 月 25 日(水)、グランシップ（静岡市駿河区）において、ふじのくに健康福祉キャンペーン推進協議会の主催による平成 29 年度静岡県健康福祉大会を開催し、次のとおり表彰した。

① 静岡県知事褒賞

表彰区分	件数	条件	備考
共同募金運動推進者	1 団体	15 年以上	

② 静岡県共同募金会会長表彰（52 件）

表彰区分	件数	条件	備考
募金ボランティア個人	9 名	3 年以上	本会評議員、配分委員を含む
募金ボランティア団体	40 団体	〃	
募金ボランティア地区	3 地区	〃	

(3) その他の顕彰

表彰区分	件数	条件	備考
中央共同募金会会長感謝楯	3 件	個人 50 万円以上、 団体 100 万円以上	個人、団体
中央共同募金会会長感謝状	2 件	個人 20 万円以上、 団体 60 万円以上	個人、団体
静岡県共同募金会会長感謝状	115 件	5 万円以上	

6 共同募金運動 70 周年記念事業

共同募金運動 70 周年を記念し、次の事業を行い、共同募金運動の周知・活性化を図った。

(1) 70 周年記念助成

①災害ボランティア活動用資機材助成

発災後に直ちに災害ボランティアが活動に着手できるよう活動用資機材の整備費を助成する「災害ボランティア活動用資機材助成整備」を実施した。(平成 28 年度開始)

H29 助成実績	7 件	4,330,487 円
----------	-----	-------------

②福祉施設機器整備(当年度機器整備)助成【新規助成】

平成 29 年度に認可施設を創設又は増改築する際に係る機器整備を助成する「福祉施設機器整備(当年度機器整備)」を創設した。

H29 助成実績	20 件	25,218,000 円
----------	------	--------------

(2) 平成 29 年度静岡県健康福祉大会における感謝のことば

平成 29 年 10 月 25 日(水)の静岡県健康福祉大会(グランシップ)において、70 周年記念として、本会会長から県民や関係者に対して「共同募金運動に対する感謝のことば」を述べた。

共同募金運動に対する感謝のことば(平成 29 年度健康福祉大会)

「赤い羽根」共同募金運動は、「国民たすけあい運動」として、戦後直後の混乱期である昭和 22 年に、戦災孤児や生活困窮者の方々の支援としてはじまり、その後、時代の要請に合わせて、多様な地域福祉を支える募金へと柔軟にその役割を変化させ、今年で記念すべき 70 周年を迎えることができました。

この間、本県では総額 287 億円余のご寄付を賜り、「じぶんの町を良くするしくみ。」として、地域を取り巻くさまざまな福祉課題の解決に役立てられてまいりました。

これは県民一人ひとりの篤い信頼と、募金ボランティアをはじめとする関係の皆様のご協力・ご支援に支えられてきたものでございます。

共同募金運動 70 周年にあたり、ここ健康福祉大会において、県民の皆様、関係の皆様のご協力に、改めて深甚なる感謝をささげるものであります。

今後とも、共同募金運動が、だれもが参加できる社会貢献の仕組みとして受けつがれ、さらなる発展ができますよう、皆様の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

平成 29 年 10 月 25 日

平成 29 年度静岡県健康福祉大会

(3) 民生委員制度 100 周年記念大会における共同募金運動の推進決議の依頼活動

平成 29 年 11 月 22 日(水)開催の民生委員制度創設 100 周年記念・児童委員制度創設 70 周年記念静岡県民生委員児童委員大会(グランシップ)において、共同募金運動の推進に関する決議を採択していただくよう、静岡県、静岡市及び浜松市民生委員児童委員協議会に働きかけを行い、大会宣言として決議採択いただいた。

大会宣言(略)

一、創設 70 周年を迎えた共同募金運動に賛同し、地域を取り巻くさまざまな福祉課題を解決する募金活動に協力していきます

平成 29 年 11 月 22 日

民生委員制度創設 100 周年記念・児童委員制度創設 70 周年記念
静岡県民生委員児童委員大会

(4) 民生委員制度 100 周年記念大会における感謝状の贈呈

平成 29 年 11 月 22 日(水)開催の民生委員制度創設 100 周年記念・児童委員制度創設 70 周年記念静岡県民生委員児童委員大会において、昭和 22 年の共同募金運動開始以来、変わらぬ協力をいただいている民生委員児童委員協議会に対して感謝の意を表するため感謝状を贈呈した。

贈呈先

静岡県民生委員児童委員協議会
静岡市民生委員児童委員協議会
浜松市民生委員児童委員協議会

(5) 70 周年記念ロゴマーク（中央共募制作）を活用した広報の実施

- ①70 周年記念ポスターの制作
- ②70 周年記念バージョンのテレビ・ラジオスポット（中央共募制作）の活用
- ③各種資料に 70 周年記念ロゴマークを活用



70 周年記念ロゴマー

第3部 法人運営

第1 会務の運営

1 理事会

開催時期・会場	審議事項	備考
【第267回】 平成29年5月24日（水） 静岡県総合社会福祉会館 602会議室 （定足数） 定員11名 総数11名 出席者9名 ※監事2名出席	【報告事項】 (1)定款第24条ただし書きにより会長が専決した事項の報告について ①平成28年度使途選択募金の助成 ②平成28年度資金収支予算の流用 【決議事項】 第1号議案 平成28年度事業報告の承認について 第2号議案 平成28年度計算書類等の承認について 第3号議案 評議員選任・解任委員会委員の補欠選任について 第4号議案 評議員候補者（補欠）の提案及び評議員選任・解任委員会の招集について 第5号議案 理事候補者の提案について 第6号議案 監事候補者の提案について 第7号議案 役員報酬等の総額（案）及び役員報酬等規程（案）の提案について 第8号議案 定時評議員会の招集について 第9号議案 平成29年度共同募金（一般募金）広域目標額について	・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議
【第268回】（決議の省略） 平成29年6月1日（木） （定足数） 定員11名 総数11名 同意11名（書面） 監事3名異議なし（書面）	【決議事項】 第1号議案 理事候補者の変更について	・原案どおり決議
【第269回】 平成29年6月14日（水） 静岡県総合社会福祉会館 聴覚障害者センター会議室 （定足数） 定員11名 総数11名 出席者9名 ※監事2名出席	【報告事項】 (1)評議員の補欠選任について (2)第163回評議員会の結果について 【決議事項】 第1号議案 会長、副会長及び常務理事の選定について 第2号議案 配分委員会委員の補欠選任について 第3号議案 外部監査の委嘱について	・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議
【第270回】 平成29年7月13日（木） 静岡県総合社会福祉会館 集会室 （定足数） 定員11名 総数10名	【報告事項】 (1)会長及び常務理事の職務執行状況の報告について (2)定款第24条ただし書きにより会長が専決した事項の報告について ①平成29年度使途選択募金の実施 ②平成29年度（公財）中央競馬馬主社会福祉財団助成要望団体の推薦	

開催時期・会場	審議事項	備考
出席者 7 名 ※監事 2 名出席	【決議事項】 第 1 号議案 評議員候補者(補欠)の提案及び評議員選任・解任委員会の招集について 第 2 号議案 理事候補者(補欠)の提案及び評議員会の招集について 第 3 号議案 平成 29 年度前期災害ボランティア活動用資機材助成について 第 4 号議案 平成 29 年度前期福祉施設機器整備事業(当年度機器整備)の助成について 第 5 号議案 平成 29 年度(第 67 回)NHK 歳末たすけあいの助成方針について 第 6 号議案 平成 29 年度共同募金の目標額、受配者の範囲、配分の方法について 第 7 号議案 地域ふれあい支え合い助成事業の助成措置を会長に委任することについて 第 8 号議案 顕彰規程の一部改正について	・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議
【第 271 回】 平成 30 年 3 月 13 日(火) 静岡県総合社会福祉会館 101 会議室 (定足数) 定員 11 名 総数 11 名 出席者 9 名 ※監事 2 名出席	【報告事項】 (1) 会長及び常務理事の職務の執行状況の報告について (2) 平成 29 年度共同募金運動の状況について (3) 定款第 24 条ただし書きにより会長が専決した事項の報告について ①平成 29 年度地域歳末たすけあい募金の助成 ②平成 29 年度共同募金(一般募金)の寄付物品の助成 ③就業規則の一部改正 (4) 職員給与規程施行細則の一部改正について 【決議事項】 第 1 号議案 平成 29 年度共同募金(一般募金)による助成について 第 2 号議案 平成 29 年度(第 67 回)NHK 歳末たすけあいの剰余金による助成について 第 3 号議案 平成 29 年度地域歳末たすけあい募金の剰余金による地域福祉活動助成について 第 4 号議案 平成 29 年度後期災害ボランティア活動用資機材助成について 第 5 号議案 平成 29 年度後期福祉施設機器整備事業(当年度機器整備)の助成について 第 6 号議案 平成 29 年度資金収支補正予算について 第 7 号議案 平成 30 年度助成要綱の制定について 第 8 号議案 有期雇用職員の身分等取扱規程の一部改正について 第 9 号議案 災害等準備金(平成 26 年度積立額)の用途について 第 10 号議案 平成 30 年度事業計画について 第 11 号議案 平成 30 年度資金収支予算について	・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議

2 評議員会

開催時期・会場	審議事項	備考
【第163回(定時)】 平成29年6月13日(水) 静岡県総合社会福祉会館 集会室 (定足数) 定員14名 総数14名 出席者11名 ※会長 常務理事 監事1名出席	【報告事項】 (1) 平成28年度事業報告について 【決議事項】 第1号議案 平成28年度計算書類等の承認について 第2号議案 理事11名の選任について 第3号議案 監事2名の選任について 第4号議案 役員報酬等の総額の設定及び役員報酬等 規程の制定について	・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議
【第164回】(決議の省略) 平成29年7月21日(金) (定足数) 定員14名 総数14名 同意14名	【決議事項】 第1号議案 理事の補欠選任について	・原案どおり決議

3 監事監査

開催時期・会場	審議事項	備考
平成29年5月16日(火) 静岡県総合社会福祉会館 集会室 監事3名出席	1 平成28年度の理事の職務の執行の監査 2 平成28年度の業務及び財産の状況の監査 ※公認会計士兼高則之氏による「独立監査人の監査 報告書」は平成29年6月13日受理	事業の適正・計算 関係書類及び財 産目録の適正が 認められた。

4 評議員選任・解任委員会

開催時期・会場	審議事項	備考
【第2回】 平成29年5月26日(金) 静岡県総合社会福祉会館 生活訓練室 (定足数) 定員5名 現員5名 出席者5名	【審議事項】 第1号議案 評議員の補欠選任について	・原案どおり可決
【第3回】 平成29年7月13日(木) 静岡県総合社会福祉会館 集会室 (定足数) 定員5名 現員5名 出席者5名	【審議事項】 第1号議案 評議員の補欠選任について	・原案どおり可決

5 配分委員会

開催時期・会場	審議事項	備考
【第53回】 平成29年6月30日（金） 静岡県総合社会福祉会館 聴覚障害者センター会議室 （定足数） 定員13名 現員13名 出席者7名	【報告事項】 (1)平成28年度共同募金運動の実績について (2)委員長に委任された事項の報告について ①平成28年度使途選択募金による助成 【審議事項】 第1号議案 委員長の選出について 第2号議案 平成29年度前期災害ボランティア活動用資機材助成について 第3号議案 平成29年度前期福祉施設機器整備事業（当年度機器整備）の助成について 第4号議案 平成29年度（第67回）NHK歳末たすけあいの助成方針について 第5号議案 平成29年度使途選択募金の実施について 第6号議案 平成29年度共同募金の助成計画について 第7号議案 平成29年度歳末たすけあい募金及び平成29年度（第67回）NHK歳末たすけあいの助成措置を委員長に委任することについて 第8号議案 平成29年度（公財）中央競馬馬主社会福祉財団助成事業に係る推薦について	・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決
【現地調査】 平成29年6月7日から 平成29年6月9日まで （延べ3日間）	配分委員1名により、緊急等助成資金による福祉施設機器整備（当年度機器整備）助成事業（前期）に申請のあった12施設について現地調査を実施した。	
【現地調査】 平成29年8月30日から 平成29年9月21日まで （延べ12日間）	配分委員13名により、平成28年度共同募金による平成29年度地域ふれあい支え合い助成事業に申請のあった49団体について現地調査を実施した。	
【現地調査】 平成29年12月8日から 平成29年12月15日まで （延べ4日間）	配分委員1名により、緊急等助成資金による福祉施設機器整備（当年度機器整備）助成事業（後期）に申請のあった12施設について現地調査を実施した。	
【現地調査】 平成30年1月10日から 平成30年2月15日まで （延べ15日間）	配分委員13名により、平成29年度共同募金による助成事業に申請のあった90の施設、グループ、団体の現地調査を実施した。	
【第54回】 平成30年3月2日（金） 静岡県総合社会福祉会館 集会室 （定足数） 定員13名 現員13名 出席者11名	【報告事項】 (1)平成29年度共同募金運動の状況について (2)委員長に委任された事項の報告について ①平成29年度地域歳末たすけあい募金の助成 【審議事項】 第1号議案 平成29年度共同募金（一般募金）による助成について 第2号議案 平成29年度（第67回）NHK歳末たすけあいの剰余金による助成について 第3号議案 平成29年度地域歳末たすけあい募金の剰余金による地域福祉活動助成について 第4号議案 平成29年度後期災害ボランティア活動用資機材助成について	・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決

開催時期・会場	審議事項	備考
	第5号議案 平成29年度後期福祉施設機器整備事業 (当年度機器整備)の助成について	・原案どおり可決
	第6号議案 平成30年度助成要綱の制定について	・修正のうえ可決
	第7号議案 災害等準備金(平成26年度積立額)の使 途について	・原案どおり可決
	第8号議案 配分委員会規程第8条第6項の委員長 の専決事項について	・原案どおり可決

6 本会開催の会議等

会議名	開催時期	対象者
使途選択募金の実施に係る説明会	5月11日(木)	
市町共同募金委員会事務担当者打合せ	8月22日(火) 3月28日(水)	市町共同募金委員会事務担当者
使途選択募金の実施に係る打合せ (新規参加団体)	10月30日(月) 10月31日(火)	参加4団体
使途選択募金の実施に係る打合せ 「伝えるコツ」セミナー 認定特定非営利活動法人日本NPOセンター NPO広報力向上委員会 委員 坂口和隆 氏	11月20日(月)	参加12団体14名
助成金交付説明会	3月28日(水)	助成先 127施設・団体

第2 その他の会務の運営

1 関係機関との連携

(1) 中央共同募金会開催の会合等

会議名	開催時期	対象者
都道府県共同募金会職員研修会	4月27日(木) 28日(金)	主事
中央共同募金会評議員会	6月22日(木) 3月8日(木)	常務理事
都道府県共同募金会常務理事・事務局長会議	7月5日(水) 6日(木) 2月9日(金)	常務理事
第8回赤い羽根全国ミーティング	7月13日(木) 14日(金)	主事、嘱託員

(2) その他会議での事業説明

会議名	開催時期	参加者
市町社会福祉協議会新任事務局長研修会	4月21日(金)	常務理事
市町社会福祉協議会事務局長会議	5月10日(水)	常務理事、次長
第1回西部ブロック社会福祉協議会連絡会	7月6日(木)	次長
第1回静岡県市町村社協中部地区連絡会	7月19日(水)	常務理事
第2回西部ブロック社会福祉協議会連絡会	11月24日(金)	常務理事
第3回西部ブロック社会福祉協議会連絡会	2月23日(金)	※資料配布
第2回静岡県市町村社協中部地区連絡会	3月13日(火)	常務理事、次長

(3) 外部研修

会議名(主催)	開催時期	参加者
監事監査研修会(県社協)	4月14日(金)	董科監事、常務理事
社会福祉協議会職員研修(県社協)	5月16日(火) 17日(水)	主事
算定基礎届事務講習会 (日本年金機構 静岡年金事務所)	6月8日(木)	主事
簿記入門講座(県社協)	6月12日(月)	嘱託員
関東ブロック都道府県職員研究協議会 (東京都共募)	6月16日(金)	主事
経理基礎講座(県社協)	6月20日(火) 22日(木)	主事
社会福祉法人人事労務管理研修(県社協)	7月31日(月)	主事
茨城県・群馬県・静岡県共同募金会意見交換会	8月10日(木)	常務理事、次長
社会福祉法制度改革セミナー(県社協)	8月30日(水)	主事
年末調整等説明会(静岡税務署)	11月16日(木)	主事
静岡市共同募金委員会担当者会議(市共募)	1月5日(金)	主事
草の根セミナー ふじのくに型福祉サービス 支援事業(県社協)	3月15日(木)	常務理事、 次長、主事

2 共同募金運動 70 年答申の推進方策への対応

平成28年度の「共同募金運動70年答申」(中央共同募金会諮問)において、今後10年間の方向性として「共同募金の運動性の再生」が提唱されたことを受け、その実現のため、中央共同募金会、都道府県共同募金会と市町共同募金委員会は、平成28年度からの当面の3年間で達成する共通の目標を定め、それぞれ具体的な取組みを行っている。

(1) 静岡県共同募金会の具体的な取組み

① 重点目標

- ・運動性の再生に向けた市区町村共同募金委員会の支援
- ・都道府県共同募金会の機能強化

② 具体的な取り組みの内容と指標

実施項目	具体的な取り組み内容	推進の指標（目標）	H29 年度実績
①組織の改革	市町共同募金委員会会長、事務局長、担当者を対象とした勉強会の開催	開催回数（年 1 回）	8 月 22 日（火） 「募金と助成が循環するしくみづくりについて」
	市町共同募金委員会への多様な人材の参画を促進	商工会議所、商工会への協力要請（年 1 回）	・県商工会連合会 7 月 14 日（金） ・全商工会議所 7 月（訪問）
②助成計画の見直し	公募助成の拡大（使途選択募金の一般公募、助成先の発掘）	使途選択募金の参加者数（15 件）	12 件（+2 件）
③募金の見直し	新たな募金ツールの開発・検討（テーマ型、寄付付き商品、社会貢献型自販機）	社会貢献型自販機の設置台数（700 台）	460 台（+28 台）
④助成の見直し	市町社会福祉協議会助成事業の助成基準の明確化に向けた現況調査の実施→「見える化」	・助成要綱の見直し ・現況調査箇所数（年 2～3 箇所）	・H30 助成要綱の見直し済み ・現況調査箇所数（5 箇所）
⑤その他	民生委員制度創設 100 周年に合わせ民生委員児童委員協議会に「共同募金推進決議」依頼	平成 29 年度の決議採択	・大会宣言として採択

③ 進捗管理

取り組みの実効性を担保するため、毎年度、推進の指標（目標）の達成状況を理事会に報告し、進捗管理を行うとともに、取り組み内容と指標の見直しを行う。（5 月理事会報告予定）

(2) 市町共同募金委員会の具体的な取り組み

市町共同募金委員会においては、次の重点目標達成のため、平成 28 年度からの 3 年間の具体的な取り組みを定め、実施している。

① 重点目標

- ・運動性の再生による共同募金運動の活性化
- ・多様な人材の参画による住民が主体となった共同募金運動の展開

② 進捗管理

取り組みの実効性を担保するため、推進の指標（目標）の達成状況を毎年度、運営委員会に報告し、進捗管理を行うとともに、取り組み内容と指標の見直しを行う。

3 共同募金運動募金経費

経費率概ね 10%（昭和 42 年 9 月 19 日付社庶第 340 号厚生省社会局長通知）を達成するために、寄付文化の醸成を図り共同募金総額の増加につなげるとともに、募金経費は常にその内容を分析・精査し、必要最小限で最大の効果を上げるよう努めた。

区 分	金額（円）	備 考
募金経費	73,035,093 （うち市町共同募金委員会 経費 17,085,857）	市町委員会経費、人件費、事務費、事業費、中央共同募金会分担金、減価償却費ほか （共同募金実績額に対する経費率 13.40%）
前年度	68,744,629 （うち市町共同募金委員会 経費 17,365,604）	同上 （共同募金実績額に対する経費率 12.59%）

第3 社会福祉法人静岡県共同募金会役職員名簿

1 理事・監事

[平成29年6月13日任期満了] 理事定数11名(現員11名) 監事定数3名(現員3名)

役職名	氏名	役職名	氏名
会長(理事)	櫻井 透	理事	藤野 直也
副会長(理事)	和田 哲也	〃	八木 啓仁
副会長(理事)	越川 年	〃	桜井 茂樹
副会長(理事)	齋藤 正	常務理事	大野 彰彦
理事	高橋 忍	監事	小高 新吾
〃	西島 瑞毅	〃	廣瀬 清久
〃	小澤 巖	〃	藁科 一仁

[平成30年3月31日現在] ※平成29年6月13日から監事定数改正(3名→2名)

理事定数11名(現員11名) 監事定数2名(現員2名)

役職名	氏名	役職名	氏名
会長(理事)	後藤 康雄	理事	藤野 直也
副会長(理事)	後藤 昌弘	〃	八木 啓仁
副会長(理事)	松下 悦郎	〃	伊藤 浩
副会長(理事)	齋藤 正	常務理事	大野 彰彦
理事	高橋 忍	監事	廣瀬 清久
〃	臼井 善吾	〃	藁科 一仁
〃	井田 久義		

2 評議員 ※4月1日から評議員定数改正(23名→14名)

[平成30年3月31日現在] 評議員定数14名(現員14名)

役職名	氏名	役職名	氏名
評議員	中村 泰昌	評議員	岩崎 康江
〃	池谷 廣	〃	秋山 辰巳
〃	風間 隆男	〃	笠井 洋明
〃	松井 和子	〃	池富 彰
〃	松村 龍夫	〃	岩崎 清悟
〃	瀧 義弘	〃	田中 尚弘
〃	田中 充	〃	合田 敏尚

3 評議員選任・解任委員会

[平成29年3月31日現在] 委員定数5名(現員5名)

役職名	氏名	役職名	氏名
委員(外部委員)	武田 幸人	委員	藁科 一仁
〃	佐々木 希世子	〃	藤原 由佳子
〃	寫本 壽信		

4 配分委員会

[平成 30 年 3 月 31 日現在] 委員定数 13 名 (現員 13 名)

役職名	氏 名	役職名	氏 名
委員長	後 藤 昌 弘	委 員	瀧 義 弘
委 員	伊 藤 浩	〃	杉 山 晴 康
〃	秋 山 辰 巳	〃	野 村 諒 子
〃	橋 本 知 之	〃	笠 井 洋 明
〃	中 野 智 之	〃	山 本 培 代
〃	佐 藤 一 彦	〃	大 野 彰 彦
〃	日 詰 一 幸		

5 職 員

[平成 30 年 3 月 31 日現在]

役職名	氏 名
常務理事兼事務局長	大 野 彰 彦
事務局次長	藤 原 由佳子
主 事	稲 葉 真友子
〃	杉 山 大 輔
嘱託員	松 永 幸 子

【事務所所在地】
〒420-0856 静岡市葵区駿府町 1 番 70 号 静岡県総合社会福祉会館 4 階 TEL 054-254-5212 FAX 054-254-6400 e-mail 22@shizuoka-akaihane.or.jp URL http://www.shizuoka-akaihane.or.jp/